

# 電波タイムズ

The Dempa Times

第1面

## 3分野の公共アプリ検討成果を公開

### 「防災」「医療・健康・福祉」「教育」

#### 全国地域情報化推進協会

全国地域情報化推進協会(APELLIC)はこのほど、地方公共団体・事業者・学識経験者等からなる「アプリケーション委員会」において、「防災」、「医療・健康・福祉」、「教育」の3分野における公共アプリケーションの整備促進に資する平成20年度の検討成果をまとめ、公開した。

防災分野では、平成19年度に作成した「防災アプリケーション基本提案書(第3版)」のさらなる具体化および充実のため、実装・運用に向けた機能要件の定義、国・都道府県・市町村間での防災情報の共有に向けた検討を行い、「防災業務アプリケーションユニット標準仕様 V1.0」として正式リリースした。

自治体における防災アプリケーションの調達を促進、普及を促進するため、取材、セミナー、各種フェアなどを利用したプロモーションを実施し、具体的な調達促進を図った。平成20年度以降の検討対象とした3ユニット(気象・観測情報管理、市町村防災業務、都道府県防災業務)の標準化方針・取扱の方向性を討議した。

を電子データとして一元管理し、住民自身の意思に基づいて閲覧・活用を可能とする「健康情報活用基盤」の構築にあたり、「すべての住民が望めば享受することができ、サービスユニバーサルサービス」という観点で地方公共団体が地域住民のためのサービスとして提供する際の要件定義を行った。自治体、介護サービス事業者が行う介護サービスの強化が介護事業のICT化の強化が介護事業のトータル経営を行う自治体にとって必要不可欠であり、かつ介護サービス事業者の業務効率化も向上させることの、実証実験成果を踏まえた提案と、サービスの基本的

な仕様案を作成した。加えて、介護サービスの検討から発展し、さまざまな情報を活用し、介護予防サービスの検討に向け、先進的なサービスなどの実態調査を行った。

教育分野では、学校地域連携のための情報共有、教育委員会事務・業務の情報化についてICTを活用した取組みで効果を出している自治体・地域の先進事例の追加収集・分析を行い、学校地域連携に資するICTツールに必要とされる機能要件を抽出した。